

一般質問（令和6年第1回定例会）

質問者	質問事項	質問要旨
川浦 雅子	1. 農業振興について	<p>1. 町独自支援及び担い手確保について 政府は、農地転用規制強化と食料安全保障の強化を打ち出したが、国の農林水産予算は縮小され続けている。 農地維持のためには、農業者への支援が最も重要と考える。 町独自での支援と、今後の担い手確保の対策を伺う。</p>
	2. 防災について	<p>1. 教訓を生かした自然災害への対応について ・住民の防災意識向上のための取り組みを町はどのように考えているか伺う。 ・台風等では、あらかじめ避難もできているが、地震では各家庭の備蓄品も持ち出せないこともある。避難所等でのアレルギー対応の食事や、やわらかい食材の食事、排泄物の処理に必要な水、また、福祉避難所における一般の避難所での生活が難しい人への対応が重要と考えている。 さらに、孤立集落発生も想定されるが、様々な震災の教訓を生かせるための防災計画を伺う。</p>
	3. 不登校と人権について	<p>1. 多様な学びと人権教育の推進について 文部科学省は、昨年度の全国小中学校不登校者数を29万9,048人いると発表した。背景の一つには、人材育成を目的とするような競争を助長する学びのなかで、苦しさを感じる子もいるのではないかと考えている。 全ての子どもたちの人権が守られ、誰一人取り残さない教育の充実を求めることから、公教育で多様な学びの場が必要ではないか。 ・不登校や障がいなど、多様な生き方に対する偏見・誤解があると感じるが、人権教育等、学校や町の生涯学習に力を入れることが必要と考えるが、町の見解を伺う。</p>
福島 康弘	1. 令和6年度一般会計予算案について	<p>1. まちづくりを見据えた新規事業をはじめ重点施策について 人口減少や少子高齢化などの課題を抱えるなか、どのような方針や考えのもと新規事業をはじめ重点事業などの予算編成をしましたか。 町長の目指している効果や成果と併せて考えを伺う。 また、今後のまちづくりを見据えて、各課から上がってきた提案ではなく町長の指示で新規に予算計上した事業の目的や考えを伺う。</p>

赤羽奈保子	1. 不登校への支援について	1. 不登校の児童、生徒の保護者への支援について 文部科学省の調査では、不登校の児童生徒は年々増加の傾向にあり、保護者の身体的負担も増えているなか、家庭への支援として、保護者同士の情報共有や相談窓口への取り組みをどのように考えているか、伺う。
	2. 認知症予防について	1. eスポーツを利用した認知症予防について 町のeスポーツを活用した認知症予防の取り組みの現状を伺う。また、eスポーツの取り組みは、健康予防や周囲との交流にもつながると思うが、認知症予防としてのeスポーツをどのように考えているか、町の見解を伺う。
新井 太一	1. 安心安全に暮らせるまちづくりについて（追跡質問）	1. 町の防犯カメラの設置体制の見直しについて 令和4年12月定例会で安心安全に暮らせるまちづくりを進めるには「防犯カメラの設置は必要不可欠ではないか」との質問に対し、『犯罪が多発している場所や犯罪被害件数などの客観的な事情が必要』との答弁でしたが、令和5年の犯罪認知件数の増加を踏まえ、防犯カメラ設置に対する町の考えを伺う。
	2. 通院による精神負担、費用負担の軽減について	1. 人工透析治療による精神負担、費用負担の軽減のための交通費助成制度導入について 高齢化が進むなか、人工透析治療を必要とする方が年々増加している。人工透析の治療には、多大な精神負担がかかるうえ、病院の無料送迎有無や、条件により利用できなければ、自家用車やタクシーなどを利用することから、さらに、多くの精神負担、費用負担がある。 通院にかかる精神的な負担や費用負担に対する支援が必要と考えるが、町の見解を伺う。
	3. 閉校後の学校用地の活用について	1. 渡瀬小学校の跡地利用について 令和7年4月の渡瀬小学校と青柳小学校の統合に向けて協議が行われているが、統合後の跡地利用の選定方法や住民の意見を取り入れた運用等について、町の考えを伺う。